

利根町教育委員会定例会会議録

令和5年6月27日 午後3時00分開会

1. 出席委員

教 育 長	海老澤 勤 君
教育長職務代理者	佐藤 忠信 君
委 員	石井 豊 君
委 員	巻島 久 君
委 員	川上 有香 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	中村 寛之 君
指導課長	丹 晴 幸 君
生涯学習課長	弓 削 紀之 君
学校教育課長補佐	久野 俊秀 君
学校教育課係長	吉田 慎太郎 君

1. 議事日程

議 事 日 程

令和5年6月27日（火曜日）

午後3時00分開会

- 日程第 1 報告第 19 号 利根町教育委員会職員人事異動の報告について
報告第 20 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について
(令和5年5月分)
- 日程第 2 議案第 33 号 利根町学校給食費条例施行規則の一部改正について
議案第 34 号 利根町英語検定料補助金交付要綱の一部改正について
- 日程第 3 その他

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 報告第 19 号 利根町教育委員会職員人事異動の報告について
報告第 20 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（令和 5 年 5 月分）
- 日程第 2 議案第 33 号 利根町学校給食費条例施行規則の一部改正について
議案第 34 号 利根町英語検定料補助金交付要綱の一部改正について
- 日程第 3 その他

午後 3 時 00 分開会

○教育長（海老澤 勤君） 忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまより、令和 5 年 6 月の教育委員会定例会を開催いたします。

今日ご審議いただく議案は報告 2 件、議案 2 件でございます。

議題に入ります前に、報告第 19 号、利根町教育委員会職員人事異動の報告につきまして
は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項の
ただし書きに基づき、非公開にしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ただいまご承認いただきましたので、報告第 19 号を非公開と
いたします。それでは、日程第 1、報告第 19 号、利根町教育委員会職員人事異動の報告に
ついてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。よ
ろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） はい。では報告第 19 号、利根町教育委員会職員人事異動の報
告についてにつきましては原案の通り、承認いたします。

続きまして、報告第 20 号利根町教育委員会、後援名義の使用承認についてを議題といた
します。担当課長に説明を求めます。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） はい。報告第 20 号、利根町教育委員会後援名義の使用
承認について、5 月分です。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第25条第3項及び利根町教育委員会事務委任規則、第4条第2項の規定により、別紙の通り報告いたします。2件の申請を承認しております。別紙をご覧ください。

まず、申請団体名、公益財団法人モラロジー道德教育財団、事業名、生涯学習セミナー、開催日、令和5年7月22日土曜日、場所、利根町生涯学習センター、目的、モラロジー教育の考え方に基づいて、感謝の心、思いやりの心、自立の心を養い、健全な家庭づくりや、安心して暮らせる社会、品格のある国づくりに貢献する目的で開催します。対象者は一般です。

次に、語り継ぐ戦争の記録講話会、代表が長島平衛さんとなっております。事業名、語り継ぐ戦争の記録講話会、開催日、令和5年8月12日土曜日、場所は利根町文化センター、目的、戦後から半世紀以上が経過し、語り継ぐ戦争の記録として、終戦当時の町の様子は、どのようであったか、残された貴重な写真、資料などを展示、講話を行い、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代へ継承していく目的で開催します。対象者、利根町民。以上2件を承認しております。

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） モラロジーのセミナーなんですけど、多分これ講習料として1,000, 2,000円取ってると思うんですけど、生涯学習センターなんで、そういうところは問題ないと思うんですけど、この徴収の区分って何かあったんですけど。例えばよく文化センターだと、コンサートなんかね、入場料みたいな感じで、3,000円とか5,000円とか、はい。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） はい、施設の使用料、使用料ですね、生涯学習センター使用料、今回のモラロジーセミナーですけども、教育委員会が後援しておりますので、無料で使っていて、使っていただきます。

Cだから参加者が多分この講習料を、ホームページ調べると1,000円とか2,000円払う営利事業とはまた違う。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 営利ではなくてその収支、が、この会を催した収支が、大きな利益を出さない、ということです。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 公益的な活動ということですね。

○教育長（海老澤 勤君） 受講料も取るんでしょう。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 受講料もこちらの申請の書類の中に500円を徴収するということで申請が上がってきてます。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。はい。

○教育長（海老澤 勤君） 対象の一般町民なんですけども、役場職員の若手、も参加をして、人間性を成長させる機会として、去年もやっております。

はい。

○委員（佐藤 忠信君） ホームページでは、1,000円から2,000円取るとなっていたんです

けど、ここは500円ってことですね。わかりました。はい。

○委員（佐藤 忠信君） それからあと佐藤委員、戦争のこの記録ということで、すごい僕もちよっと興味がありまして。僕は小学校5年生のとき、こっち来ましてですね、利根町にこういった戦争の被害があったということなんでしょうね。

その語りなのか、それとも平和全体のこの例えばよく、よく龍ヶ崎の文化センターのこっちの歴史民族資料館、あそこでよく企画展で、原爆の悲惨さとか、あと県の提示とかやったりしてたんですね。

今回の講話会は、会話ちよっと限定したものなのか、それとも一般的なものなのかを知りたいんですが。

○教育長（海老澤 勤君） はい。弓削課長。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） はい。そうですね、手元に申請書類がありまして、題名が語り継ぐ戦争の記録となって、その資料を見ますと、我が町の戦争記録ということで、内容を見ますと、昭和30年に1町3村が合併して、利根町になったわけですが、その時期からの日清日露戦争からの話で始まっておりまして、実際に利根町の戦争に関係した施設とかそういうものがあったというところで、主に説明がされております。あと中には、第二次世界大戦中、佐貫にB29が落ちて、加納新田に落下傘で不時着された方のお話なども書いてあります。そういう町内での出来事、記録を発表といいますか、語り継ぐ会になってます。

○教育長（海老澤 勤君） この講師の長島平衛さん、自分の土地に戦争資料館を立てて、身内、お父様の出兵の様子とか、お父様の戦いの後とかね、地図に起こしたりして、そういった自分の家の歴史も多分、今日のお話伺ったときには講演の中でやっておられましたんで、そういった部分もあるんじゃないかなと思います。他にいかがですか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） はい。では、報告第20号、利根町教育委員会後援名義の使用承認についてにつきましては原案の通り承認いたします。

続きまして日程第2、議案第33号利根町学校給食費条例施行規則の一部改正についての議題といたします。担当課長に説明を求めます。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。それでは、議案第33号利根町学校給食費条例施行規則の一部改正についてご説明いたします。提案理由でございますが、利根町学校給食費条例施行規則の一部を改めたいので、教育委員会の議決を得るため提案するものでございます。議案第33号の参考資料の新旧対照表をご覧ください。

付則の第4項中、令和4年6月から令和5年3月までを令和5年度に改め、第5項を削除するものです。付則としましてこの規則は公布の日から施行し、改正後の利根町学校給食費施行規則の規定は令和5年4月から適用するものです。これにより、令和5年度の利根小学校児童及び利根中学校生徒の給食費を、令和5年4月に遡り、無償化にするものです。

説明は以上でございます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） はい。ないようですので、議案第 33 号、利根町学校給食費条例施行規則の一部改正についてにつきましては、原案の通り承認いたします。

続いて議案第 34 号、利根町英語検定料補助金交付要綱の一部改正についてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

○指導課長（丹 晴幸君） はい。それでは、議案第 34 号、利根町英語検定料補助金交付要綱の一部改正についてご説明をいたします。提案理由でございますが、利根小学校が教育課程特例校の指定を受けて、小学生から外国語活動などで英語に親しんでおり、対象を小学生まで拡大したいこと、また、就学援助を受けているものに対しては、全額を補助したいので提案するものでございます。1 枚おめくりください。

こちらは利根町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する告示でございます。利根町英語検定料補助金交付要綱の一部を次のように改正する、となっております以下は改め文となっております。この裏面には変更後の様式を掲載してございます。詳細につきましてはさらに次のページの新旧対照表によりご説明いたします。

まず、本則中、生徒を児童生徒に改めております。第 2 条第 2 号ア及びイの中学校を学校へ、ウの義務教育学校の後期課程を義務教育学校に、さらに次のページに移りまして、オの中学部、を小学部及び中学部に変更しております。また、第 4 条第 1 項に、ただし、利根町就学援助事務取扱要綱に基づき、就学援助の認定を受けたものについては、検定料の全額を補助する、を加えるものでございます。また、様式 2、の内容の中学校名等を学校名等に修正してございます。なお、付則といたしまして、この告示は公表の日から施行するものでございます。説明は以上となります。

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等、ございますか。よろしいでしょうか。はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） まあ、この、小学校までもうどんどん下げていくことはいいことだと思ってい見させていただいてますが、もう本文については特に、承認するところなんです、この様式のところで、以前は複数出たときは、最初の級ということで限定してたんですが、これもう全部出すような感じなんですか。

○指導課長（丹 晴幸君） そうですね、複数回受験ができるようになったものですから、この受験級を記載する最上位の級を記入するという、この注釈はもう合わせていないだろうということで、外させていただいております。

○委員（佐藤 忠信君） はい、ありがとうございます。

- 教育長（海老澤 勤君）** よろしいですか。はい。他にいかがですか。はい。石井委員。
- 委員（石井 豊君）** これは受験する方にとっては非常にやる気が出るようなことだなと思うんですけども、ちょっと予算の方確認しなかったんですけども、予算の方はこれで、これをやることによって、確認してない私が悪かったんですけど、その辺ところはどうなるかっていうのちょっとお願いしたいんですが。
- 教育長（海老澤 勤君）** 丹課長。
- 指導課長（丹 晴幸君）** 今のところですね、予算内に収まる形で一応このルール改正ということにさせてもらいました。ただし、我々の本意としてはですね、予算が足りなくなるぐらいですね、たくさんの方が来てもらえるようになっていくといいのかなあというふうには思っています。現状だときりぎり間に合っていくというふうに考えております。
- 委員（石井 豊君）** おっしゃられたように、どんどん受けられるような、逆に言うと、補正組むぐらいの形で充実できるような形になっていただければなと思いますのでよろしくをお願いします。以上です。
- 教育長（海老澤 勤君）** はい。他にいかがですか。よろしいですか。はい。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**教育長（海老澤 勤君）** はい。ないようですので、案第 34 号、利根町英語検定料補助金交付要綱の一部改正についてにつきましては、原案の通り承認いたします。

日程第 3、その他になります。何かございますか。はい、弓削課長。

○**生涯学習課長（弓削 紀之君）** はい。では、お手元に今日お配りしました A4 の資料をご覧ください。今年度図書館の事業としまして、第二次の利根町子供読書活動推進計画を策定いたします。それについて説明させていただきます。

この計画の目的ですが、子供の読書活動推進への取り組みを充実させるため、読書活動の基本方針を示し、必要な施策や事業を体系化することを目的としております。計画期間は令和 6 年度から令和 10 年度の 5 ヶ年です。この計画の対象としましては、0 歳から中学生を対象としております。

アンケートを実施して推進計画を策定することを考えております。アンケート対象が児童生徒、小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の児童生徒及びまた保護者につきましては、小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生の保護者を対象としてアンケート調査を実施いたします。アンケート調査と、学校教育課、指導課、小中学校の司書教諭さん、学校司書さん等の協議会を持った上で計画を策定していく予定です。では次の計画策定スケジュールをご覧ください。

この括弧 W の記号というのは、学校教育課、指導課、小中学校の司書教諭さん、学校司書さん、図書館等の協力を得まして、協議会協議をするという内容になっております。今年 5 月、内容ですが、計画策定に向けた準備、計画策定スケジュールの作成、アンケート調査の

対象、調査内容を5月に決定しております。

次に6月下旬から7月いっぱいにかけてアンケート調査の実施、集計を行います。アンケートはこれから学校を通じてWEB回答での調査を予定しております。

8月にアンケート調査の集計及び協議、各専門部、学校長さん等の協議終えて、計画書の素案を作ります。

9月に計画書案の協議ということで、図書館協議会及び教育委員会定例会での協議を予定しております。

10月、計画素案を決定した上で、パブリックコメントを実施いたします。

11月、計画書案のパブリックコメントへの回答案を作成し、必要に応じ、計画書案を修正いたします。

年があけて6年1月、計画書案のパブリックコメントの回答案の協議に入ります。その時に6年の1月、教育委員会定例会へ、パブリックコメントの内容と、その回答案を説明し、定例会に諮りたいと思います。

2月にパブリックコメントへの回答を公表いたします。

また3月に、最終的に計画を策定するわけですが、3月にも図書館協議会及び教育委員会の定例会にお諮りして、最終的に計画を策定する予定となっております。教育委員会定例会の方でもご説明、逐次、内容説明、連絡報告いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりましたご意見等ございますか。

はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） 本当にこの読書活動っていうのは、昔からですね、本によって子供の情緒とか、そういうものが作られてきていると思うんですね。今、やはりどうしてもこのデジタルに移行している。それはそれでいいんですけども、やっぱり僕は本が好きなので、こういった読書活動を推進するということはすごくいいことだと思ってます。この読書活動っていうのは、やはりそのなんでしょう、紙のものを中心に考えているのか、それとも、もうこれもデジタルのこう一緒に範囲内で考えてるのか、ちょっと聞きたいんですが。

○教育長（海老澤 勤君） はい。弓削課長。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 私も紙ベース、あとはデジタル化っていいですか。どちらも今回のアンケートをまたは調査、学校での司書さん、学校市町村の現場での状況等を検討しながら、それも含めて計画を作っていきたいと思います。

○委員（佐藤 忠信君） この間、テレビで今ハリー・ポッターの何かそういう展示する場所ができたということで、騒がれていると思うんですが、その当時のハリー・ポッターを読んだ世代が結構もう、お母さんとかお父さんとかになっていると思うんですが、ところが今若い世代もこれに興味を持って、その施設に行ったりしてるらしいんですね。これはなぜかという、やはりその当時呼んでた親が、この本がいいということで、この子供たち、繋いでいくっていうんですかね。そういったこともありますので、いわゆる小説とかいろんな良

いものはみんなそうだと思うんですよ。やっぱり親がいいんだよって言って進めていったりするので。親子のコミュニケーションが取れたりですね、できるので、この活動の推進はぜひ進めて欲しいなと思いました。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） はい。他にいかがですか。よろしいですか。はい。弓削課長。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） もう1件なんですけど、お手元に6月12日、月曜日から多目的ホール、イベントホールで、デジタル絵馬展を開催しております。その中で、図録としてそこに展示してある、絵馬の内容が載っている図録を作成しております。教育委員の皆さんも見ていただけたかもしれませんが、すいません。お時間があれば見学していただければと思います。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） はい。よろしいでしょうか。はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） 実は私これ妻と一緒に見に行ったんですよ。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） ありがとうございます。

○委員（佐藤 忠信君） いや、利根町にこんなにいろんな今、以前も確かやってたと思うんですが、さらにこのパワーアップして飾ってありまして、柳田國男の。以前中村課長に、こういった意味もあるんですよ、聞いて。なんか全然気づかなかったものも、これですごく鮮明にわかる。いいなあとになって見ました。

まだまだ利根町に今以外のいろんな文化財いっぱいあると思うんですね。多分今、デジタル化を推進して、どんどん撮ってると思うんですが、そういうのもですね、ぜひこういった企画ですね、見せていただけたらいいなとちょっと思いました。それからその文化財という意味ではですね、例えば、地固め唄とか、ああいう無形文化財とかもあると思うんですね。あと鎌倉街道の保全活動してるところとかあると思うので、そういったところの活動とかの展示をやってみるとちょっとね、実現できるかどうかわからないんですけど、例えばこの前の総会の中ではなかなか若い世代が入ってこないという話もありましたので、そういう紹介する場所を提供して、例えばそこで入会できますみたいなシステムをとってもいいんじゃないかなと、ジュニア何とかとか、そういう世代ごとにジュニア会員とか、そういう会員制度ももっと充実していいんじゃないかとちょっと思ったものですから。現実には厳しいかもしれませんが、ちょっとそんなことを感じました。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） 課長何かありますか。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 鎌倉街道、今年度、6月ぐらいに鎌倉街道を見学する人のためにトイレも設置しましたので、少し鎌倉街道の見学者を増やせるような何かがあればと考えているところです。

○教育長（海老澤 勤君） はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） あとは大平の植物園とかも、僕も見に行ったんですが、すごいもう綺麗で、あれ、ボランティアの方ですかね。周り綺麗にして保存されてるかと思います。あと、昔ですね、その上に船着場が実はあったようなんですが、大平に。あれを以前見に行こうとしたらもうちょっと入れなかったりして、あと押戸もですね何かあるみたいなんです

すが、特にそういう歴史にまつわる何かを、もうちょっと見れるような仕組みになってもいいのかなと、そう思いました。所感、率直な感想です。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） 今回の絵馬展、タイトルにもあるように、デジタルでの香取薬局の香取さんがカメラ、それから助手を連れてですね、本当によく撮っていただきました。絵馬なんかも、一部がもう消えつつあるのですね。そういったところで現状を残していくと。それともう一つは、細かいところまで拡大をすると、見えないものが見えてくるっていうことがあります。日曜日にも古田先生にそういったところを、ご講演をしてもらったんですね。すごく感動するような中身の講演会だったんです。江戸時代から見れば本当 200 年以上、200 年経つわけですが、時間の経緯とともに、どんどん、消えつつある、そういった絵馬がたくさん残っているっていうだけでもね、地域の歴史っていうのは、豊かなものだったんだなど、感慨深いものがありますね。はい。他にありますか。はい。川上さん。

○委員（川上 有香君） 昨日は6年生、こちら、議会場を見学させていただきありがとうございました。子供も真剣に、これ私も子供と一緒に見に行っただけですけども、意外と興味ないかなと思ったんですけど、真剣に見て、文章なんかも読んでるので連れて行ってよかったなと思いました。

それであと一つなんですけど、保護者の方とお話する機会がありまして、バスの話なんですけれども、スクールバス、はい。おそらく早尾の方のバスだったと思うんですけど。走行中、シートベルトをしていますよね。それを外して歩き回ってしまう子がいるって話で、1度運転手さんの近くまで行ってしまっただけで、危なかったみたいな話をちらっと聞いたので、ご存知かなと思ひました。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。その話は聞いてまして、対処といたしますか、学校と相談して、今そのバスには、指導課の先生、丹課長のところの職員が月、火、木曜日、それから水、金曜日が学校の先生が乗って対応しております。保護者の方にも話もしてあって、保護者の方が今日初めて火曜日だけバスに乗ってくれるっていうところで、今、今日乗ってくれているのかどうか、現状ちょうどバスが動くくらいの時間なんですけど、火曜日だけはその保護者の方も乗ってくださるということ。

それで、運転中のところまでいって確かにカメラの方で見ると、近くまで行ったってことはあったんですけど、運転者はそれほど気にしていなくて、特に報告も無かったんですけど、だから、それほどでもなかったんですけど、そういうのも心配になったので、今そういう対応をしているところです。

○委員（川上 有香君） よかったです。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） ありがとうございます。他にいかがですか。はい。石井委員。

○委員（石井 豊君） はい。何日か前の新聞です。新採の教員の離職率が高くなってきているってのは、ちょっと聞いたんですけど、教員だけでなく一般の会社でもそうかと思うんですけど特に教員は目指してなったところがあるんで、何が原因なのかって言う

たら、精神的な病が圧倒的 6 割 7 割、心の病が結構あったってということがあって教員離れていうか、これが何とか少なくなればというのもあったんで、利根町の新採の方、何人かいらっしゃるんですけど今のところ大丈夫かなあと。その辺ところもちょっと見ながらちょっと気に留めていただければなと思って、新聞報道があったのでちょっと聞いてみました。

○教育長（海老澤 勤君） はい。丹課長ありますか。

○指導課長（丹 晴幸君） 確かに心配にはなるので、我々も訪問してる時には表情をまず見るようにはしています。管理職と、その後、どうですかという確認をさせていただいてます。それから、学校運営指導員が指導課雇用しておりますので、校長経験者が新採の教員のところに行くような仕組みが利根町はでき上がっていて、例えば半年経ちましたけれども、どうですかなんていうことを吐き出せるような場所っていうのを作っています。

あと県の方の指導で、できれば担任は持たせないであげて欲しいとか、部活動に関しては顧問ではないような形でとか、新採教員に関しては、十分配慮するようにという通知も出ておりますので、なかなか小学校で担任持たせないとかそういうことはちょっと難しいところではあるのですけれども、本人の同意なしにということではないような形で進めています。ただこればかりは本当にいつ出るかというのは、予断は許さないの、我々が気持ち高く持って、声掛けを忘れないようにすることが大事なのかなというふうに思います。

先日も県南教育事務所から指導を受けたんですけれども、新採教員が自分から疲れましたとか、ちょっと体調が、みたいな話を自分から出されて気がつくってなってしまうと、もうかなり末期の状態なんじゃないかと。なので、管理職、教育委員会も含めてなんでしょうけれども早めに声をかけて、本人の状態を確認するようにという指導を受けて参りました。

○委員（石井 豊君） そうですねその形やっていたらと、その報道では新採で月 320 時間の残業だとか、そんなのが出てて、それをちょっと、校長とかに言うと、そんな俺らの時当たり前だと、そういう時代が変わってるんでその時はすごかったんですが時代は変わってるんで。それに耐えられた人はいいですけど、今ちょっとなかなかそういうことじゃないと思うんで、上の方からの指導がそうになっていないと思うんですけど。そういうので余計になってきちゃうところもあるんですけど今、丹課長の話聞いて、大分そういうのはないのかなというふうに思ってますんで、一安心したところであります。

○教育長（海老澤 勤君） その他ありますか。牧島委員。

○委員（巻島 久君） 子供たちの様子を見させていただきたいということで、昨年 7 月ぐらいに、子供たちの授業の様子を見させてもらったかと思うんですけど、今年度は統合をしたり、開校式があったり、まだ子供が登下校の心配で、いろいろこうやっているとところなので、1 学期中に見せてもらうのはちょっと大変かもしれないんですけども。9 月とか 10 月ごろに、子供の様子を見させていただくと、さっき川上さんの方からいろいろな子供の様子を実際に見るといろんなことに気が付くという話あったと思うんですけども。教育委員としても子供の様子を見させてもらえれば一番いいかなと。

特に中学校なんかは今までと同じですけども、なんか制服が変わったそうですね。そういうこともあって、例えば制服を変えたことによって子供の意識、何か変化が出たのかどうかとか、それから非常に落ち着いてきたので、学力向上に専念できるとか、そういう中学校は中学校で合併とかそういう大きなことがなくても、やっぱり注目してみたいと思うんですよね。春休みにあったこと等の影響がないかどうかも含めてですけども。ですから指導課の先生が中心になって学校と相談して、無理のないところで、特別準備はいらなから。本当に授業者名と、単元名ぐらいだけでもいいですし、もしあれだったら何もなくても、授業だけ見せてもらえればと思うんですけど、今のいろんな関連で、例えば新採の人の事業は特に注意深く見るとかですね。授業の中身がどうのってよりも、子供と授業者の距離がなんかちょっと離れてるような感じがするとか、すごく接近してていい感じだとかを見れば大体雰囲気がわかるかと思しますので、そういうのを見たいということで、別に県の訪問とは違うので授業テクニック云々というよりは、子供との距離感がうまく保てるかとかそういう点でね、みたいなのと思しますので、よろしく願いの方をしたい。

○教育長（海老澤 勤君） 課長の方から学校訪問について、はい。

○指導課長（丹 晴幸君） 学校訪問に関しましては、町民の皆さんも関心が高いというか、学校がどうなってるのかっていうのはありますので、直井校長先生とは、訪問がこの後たくさん入ってくるでしょうということとは以前から話をさせていただいています。今のところ県南教育事務所の方から、諸課長訪問が1回終わりました、この後、計画訪問も指導課の方でさせていただくことになってますが、まず、町長訪問、町長の方の視察をしていただきまして、さらに議員さんの厚生文教委員を中心とした議員さんにも、希望を取ったところ、ほとんどの議員さんが視察に行くということになってるんですが、議員さんの訪問も計画をさせていただいてるところです。

ちょっと訪問回数の方が1学期以降詰まってきてしまっているの、教育委員さんの方も確実に入れたいとは思ってはいたんですけども、今の現状としては、ちょっとこう詰まり過ぎてるのかなというところもございまして、2学期というか夏休み明けてからですかね、実施させていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○教育長（海老澤 勤君） 教育委員さんの方もこの時期に行っていたんですが、今、指導課長からあったように、まずは文教委員さんから要望があって統合後の利根小学校を見たいということで、まず計画を立てました。これが7月の初旬なんですが、議員さんの訪問、学校訪問はやるんだけど、町長、その前にやらないと順番はいかなものかなっていうことで急遽、少人数で課長、私、町長、3人で町長の学校訪問を入れました。これが6月の30日、来週ですね。そうすると教育委員さんの訪問も入れたいんだけど、2学期の良いところで計画を立てますので。その時には、利根小、利根中と、多分1日の中ですね、訪問予定というところになるかと思います。

○学校教育課長（中村 寛之君） その際に小学校のバスを見たいなどありますか。帰りのバスとか。下校の状況を見たいとかそういうのはありますか。議員さんからちょっとあった

ので、1時半頃に集合していただいて、教室を見て、それで、ちょっと話をして、2時50分の帰りのバスの状況を見てもらうということで、7月10日の議員訪問時には、進めている状況なんですけど。もし委員さんもそういう形であれば、中学校先にして、小学校見てもらって途中、昼食など食べてもらうんですけど、そういう方法もできるのかなとは思っているんですけど。

○委員（巻島 久君） 子供たちの様子を孫を通じてちょっと見てみると、当初に、学校に着いて、すぐもう朝の会が始まっちゃうのでトイレにも行きづらいなんていう様子だっということのを学校側に伝えたらすぐ日課を変えてくださったりとか、いろんな手を打ってくださってるってということなので、学校の方としてもバスの登下校に関しては大分気を使って、いろんな対応をしてくださってるっていうのはわかっていますので、あとはそちらの方の心配がなくなれば、授業の様子を見て、何か、うちの孫たちの様子からすると、16人とか20人ぐらいのクラスでしんみり授業を受けたのに、今度は40人近いクラスだから、しんみりというよりガチャガチャしてて、ちょっと子供の言葉で言うと、うるさい気もするみたいな話があったんですけど、でもそれは自然なことなので人数が増えれば。今までは意見言う人いないからしんみりしてたのに、今度は質問する子が1人2人いれば、授業の雰囲気はまた違ってくると思うんで、そういうのは授業を見せてもらえばこんな感じなのかっていうのがわかるので。私個人としては、登下校の方は特にはね。

あと、この間ちょっと新聞で耳にしたのは、学校とは直接違いますけれども、各旧学校に子供を預かる児童クラブがそのまま残ってますよね。だからその児童クラブとの連携あたりが軌道に乗っているのかとか、それから児童クラブのあり方について、子供は自由に児童クラブの方が教室よりも伸び伸びと自分を出せてよくて指導者もあまり細かいことは指導しないみたいな話がテレビのニュースでちょっと見たりしたんですけど、それを見てちょっと気になったのは、児童クラブの運営なんかがスムーズにいつてるのかどうかっていうのもちょっと気になって、学校教育からちょっと外れるんですけどでも、現状としては、すぐ学校の敷地内に子供がいて、子供たちもそこに直行する子もいるわけですから。ちょっとその辺もですね、気にはなってるってところで、学校訪問の時にでも。課長さんあたりから、児童クラブは特別、困ったことはないようですとかそういうのが聞ければ、それで十分だと思うんですけど。

○学校教育課長（中村 寛之君） 現状児童クラブ利根小学校、文間小学校、文小学校の3つで行ってます。利根小学校40人くらい、文間小学校も40人くらい、文小は10人ちょっとくらいで行ってる状況なんですけど、確かに利根小はそのまま終わってから、児童クラブの部屋に入っていることはできるんですけど、文間小、文小につきましては、そこまでバスで送って行くということがありますので、先生方はそこまでこうやってくださってるんで、それをちょっと大変に思っていると。児童クラブが利根小学校にあればこの業務は発生しないということは話し合いの中では確かにあります。そういう話が出たので、児童クラブ担当課である子育て支援課と話しまして、そこでその待っている子供を見てもらう児童ク

ラブの支援員さんに協力してもらいたいということで、今はその協力もしてもらっている状況なんですけど、ただ、支援員さん1人で見ているという状況なので、学校の先生から言わせると、その1人の人がすごい大変でかわいそうに見えるっていうことを聞いているので、その辺をまた子育て支援課にお願いして、現状見ているのが利根小の支援員さんなので、文間と文から1人くらいずつ、最低でも1人出して2人体制で見ることにはできないかということで、今お願いしてる状況で、学校側と教育委員会側と児童クラブの方で、児童クラブと子育て支援課は毎回ではないのですが、毎月1回程度話し合いを設けております。

その中で、先生方から児童クラブに対してのお願い等もありますので、そこで話をしている状況でいます。子育て支援課長と校長の方で、結構以前まではできなかったこともいろいろ相談してやってくれていて、結構いい状況になりつつあると思います。

○委員（巻島 久君） なんかね学校とは違うと言っても、敷地内にあれば、管理上、うまくいってるかどうかとかね。以前は家庭科室を使ったりしたから、日課を組むのも影響してたりしましたが、今は立派なクラブができたので、大丈夫なんだろうとは思ってましてね、ちょっとその辺が気になったっていいですかね、あったのでちょっと話題にいたしました。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。他にいかがですか。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） 先日、龍ヶ崎南高校の学校評議会があったんですが、県立も当然制服がジェンダーレスな形でやってまして、それが今進んでるんですが、利根中もそうなってると思うんですね。で、一つ問題なってきたのが、トイレで、今、男子女子しかなくて、これをこの制服を来てる人たちが、これ、それで入っていいのかとか、やっぱり心の中では、葛藤しながら入ってる生徒さんもいるみたいで、多目的トイレを一つ作るかなという方向で検討してるとかですね、そういった何か意見みたいなものは、中学校から特に上がってきてはないですか。

○学校教育課長（中村 寛之君） 多目的トイレを女子トイレの中には、利根中は作ってるんですよ。委員の言ってることとはちょっと違ってしまっている部分はあるんですけど。

また、今年、利根中学校の体育館改修の設計をしてるんですけど、その中で、その辺、小学校も体育館に多目的トイレがありますので、そういう形でちょっと、その辺については、体育館の時に、できればなっているところでは考えてるところなんですけど。ちょっと現状利根中に多目的トイレを各階に作るというのはちょっと難しいところあるんで。ただゆくゆくは、今度エレベーター等も必要になってくると思うので、その時にはそういう施設、利根小学校もそうなんですけど、プラスして少し作ったんですよ。そういうことは今後考えていくっていうところにはなってくると思うんですが。それが国の指導なので、そういう考えはあるんですけど、やっぱり順番がありまして、体育館の方からやって、その後には武道場ももう何十年も経過してるっていうところもありますので、またその後に、利根小学校のグラウンド整備も考えておりますし、順番ちょっとあるんですけど、国からの補助金も使えると思いますので、その辺で今後検討していきたいと考えております。先に体育館であった

り武道場であったり、もしできればなっているところでは考えている状況です。

○委員（佐藤 忠信君） それはそっちを使えばいいわけですからね。はい。わかりました。ありがとうございます。

○指導課長（丹 晴幸君） 今のところ学校からのトイレであったり更衣室であったりとかということでの、相談であったり、学校で困っていることっていうことはちょっと報告を受けていないので、現状そういう子が、つらい思いをしてる子がいるなんていう情報は今のところ私のところには入ってません。ただ職員の中の校務分掌、分担の中に今、性的マイノリティサポートチームっていうのを必ず位置付けなさい、というのがありまして、今年度からこの中学校の方には性的マイノリティサポートチームというのを作らせていただいています。ですのでそういう訴えが生徒さん、保護者からあった場合にそのチームがまず対応していくという体制はでき上がっています。

○委員（佐藤 忠信君） 今は子供の話題として挙げたんですが、例えば今度この働く側がそういったことも今後出てくるような気はしてるんですね。そういったところはまだまだ県でも、国でも、そこまでの指針のは出てないような気がして、そういったところも併せてやったらいいんじゃないかなとちょっと普段から思ってるんですが、そこはなかなか難しいところなんじゃないかな。線引というかね。先生方もね、やっぱりそういう心のもやもやがある方もいるんじゃないかと僕は思ってるんですけど。

○教育長（海老澤 勤君） 今年の県の教育委員会の重点事項の一つには、今あった性的少数者の指導を学校の中に授業で位置付けなさいと。どの学校もやりなさいという、重点事項の一つには来てますね。どこで取り上げるのかっていうのは、保健体育なのか、学級活動、その辺が中心になってくると思うんですけども。他にどうですか。はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。今日、給食の要綱の方を一部改正ということで、規則の一部改正ということでさせていただいたんですけど、昨日に教育長と話をしまして、アレルギーで弁当を毎日持参している方がいるのですが、そういう方に対しては、補助金として、無償化した分と同じ金額を保障したいということで考えておりますので、その辺ちょっと来月以降規則として提案したいと思いますのでまたご意見をいただければと思います。よろしくをお願いします。

○教育長（海老澤 勤君） はい。よろしいですか。ないようでしたら、6月の教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

〔「はい」と呼ぶ声あり〕

○教育長（海老澤 勤君） はい。以上で令和5年6月の教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

午後4時13分閉会